

# 新年の



松 田 知 己  
美郷町長



新年おめでとうございます。みなさまにおかれましては、昨年を振り返りながら、今年をどういう年にしたいかに想いを馳せているものと存じます。

さて、昨年は多面において「異変」の連続だつたように思います。まず気象面においては、少雨による渇水状況の後の豪雨発生。生活面においては、紛争や為替の変動を起因にした物価の高騰、米の不足状況を起因にした米価の高騰。経済面においては、円安の進行と株価の高騰がありました。ある人にとっては良く、ある人にとっては悪い環境でした。さらに生態系においては、誰にとつても良くないツキノワグマの異常出没。日常生活に不安を感じさせられました。

他方、行政においてはどうかと言ふと、人口減少を踏まえた子育て支援の強化面では、子育て支援拠点施設の整備を計画通り進めたほか、学校給食では栄養価の高い米の提供を実現できました。

また、移住定住の強化では町有地（旧六郷わくわく園跡地）の宅地化を推進しました。町民生活の向上の観点では、配達負担軽減等のため広報お知らせ版を廃してテレビ回覧板をスタートさせたほか、環境負荷軽減としてプラスチックゴミの回収実施などの良い点があつた反面、財政環境は残念ながら悪化の状況で、現在のところ、基金取崩額を積み戻しきれない見通しにあります。そのため、行政として一定の安定性はあつたものの、一部で変化をきたしているところです。

こうした状況を総括して臨む今年も、行政においては引き続き計画的に取り組みを前に進めなければいけません。その基本となる町の総合計画（後期行動計画）は既に策定しており、その実践を着実に推進してまいります。まずは今年夏頃に供用開始を見込む子育て支援拠点施設は着実に完成を目指します。また、整備した宅地については夏以降の販売に向けて準備を進めるとともに、検討課

題の小中学校の給食費は負担軽減の強化を進めます。一方、それを支える財政環境も改善に向けて取り組まなければいけません。各般にわたる支出をさらに精査することも、収入では各種施設利用料等の妥当性も検討し、収支両面での改善に取り組んでまいります。

時代は確実に変化し、それに合わせて人の価値観も変わり、結果、物や物事に対する価値も変わつてきています。それに対応していくことが肝要である一方、時代が変化しても変わらぬもの、それを大切にしていくことも住み心地や住み良さに直結してまいります。美郷町は令和8年も両面を認識した町づくりを進めてまいります。今年も町民みなさまのご理解とご協力を心からお願いいたします。

# ごあいさつ



# 美郷町議会議長

高橋邦武

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと存じます。

令和7年は、全国的にクマの目撃や被害が相次ぎ、クマによる死者数が過去最多となりました。美郷町においても人身被害があり、被害に遭われた方々には謹んでお見舞い申し上げます。クマ被害を防ぐため、山と人里の境界に緩衝帯を設けるゾーニング管理など、さらなる対策を進めていくことが必要です。

トとなりました。早速、「議会活性化検討会」を立ち上げ、定数と報酬のあり方や議員のなり手不足対策に着手したところです。

今年は、それぞれの課題に関する調査・検討を行ふとともに、皆さまのご意見を伺いながら、議会としての効果的かつ迅速な対応に取り組んでまいりたいと考えています。

特に、広報と広聴の活動は、住民参加のまちづくりの観点から、さらに充実させる必要があるため、「身近な議会推進事業」を新たに計画し、実行に移していきます。

議会の広報活動は、年8回の『みさと議会だより』の発行をはじめ、町ホームページ・SNS、テレビ回覧板を活用しており、令和8年度には録画した議会本会議のインターネット配信を行い、情報発信を強化する予定です。

町民との意見交換会は、広報・広聴の両面から

し上げます。

効果があるため、公募方式に切り替え、団体・自治会・グループ等から議会に対し、いつでも可能な時に申込書を提出していただき、日程を調整することにしましたので、皆さまからのアプローチを期待しています。

その他の広聴活動は、議会傍聴時や『みさと議会だより』掲載はがきのアンケート、議会への電子メールにより実施しますので、忌憚のないご意

見をお待ちしています。  
令和8年の干支である丙午は、情熱や変化を象徴し、物事を大きく広げていくエネルギーに満ちた年とされています。皆さまにとつて、ご多幸な実りのある一年となりますよう、心からお祈り申しあげます。

